

	2年の復習……………	4
<b>第1章</b> 詩		
<b>1</b> 声に出して読もう……………	8	
<b>2</b> 想像しよう……………	12	
まとめの問題……………	16	
<b>第2章</b> 物語		
<b>3</b> 様子を思いうかべよう……………	18	
<b>4</b> 気持ちを考えながら……………	22	
<b>5</b> 心にのこった場面……………	26	
まとめの問題……………	30	
ジャンプアップ……………	32	
<b>第3章</b> 漢字・語句		
<b>6</b> 漢字の音と訓・送りかな……………	36	
<b>7</b> 漢字の組み立て……………	40	
<b>8</b> こそあど言葉・つながり言葉……………	44	
まとめの問題……………	48	
<b>第4章</b> 説明文		
<b>9</b> だいたいなことを……………	50	
<b>10</b> まとまりを考えよう……………	54	
<b>11</b> つたえたいこと……………	58	
まとめの問題……………	62	
ジャンプアップ……………	64	
<b>第5章</b> 言葉の決まり		
<b>12</b> 文の組み立て……………	68	
<b>13</b> 形のかわる言葉・思ったことを 表す言葉・丁寧な言葉……………	72	
まとめの問題……………	76	
<b>第6章</b> 作文		
<b>14</b> 言葉から文へ……………	78	
<b>15</b> 絵を見て書く……………	80	
<b>16</b> 作文の書き方……………	84	
<b>第7章</b> 物語・民話		
<b>17</b> 日本の民話……………	88	
<b>18</b> 外国の民話……………	92	
<b>第8章</b> 説明文		
<b>19</b> ぼうけんの話……………	96	
<b>20</b> せんそうの話……………	100	
ジャンプアップ……………	104	
<b>第9章</b> 漢字・語句・言葉		
<b>21</b> 生き物のふしぎな力……………	108	
<b>22</b> ぐらしのくふう……………	112	
<b>23</b> 言葉……………	116	
ジャンプアップ……………	120	
<b>24</b> 漢字のでき方・熟語のでき方……………	124	
<b>25</b> 言葉をふやす……………	128	
3年のまとめ①……………	132	
3年のまとめ②……………	136	
ローマ字にふれよう……………	140	
名作にふれよう……………	144	

# 1 声に出して読もう

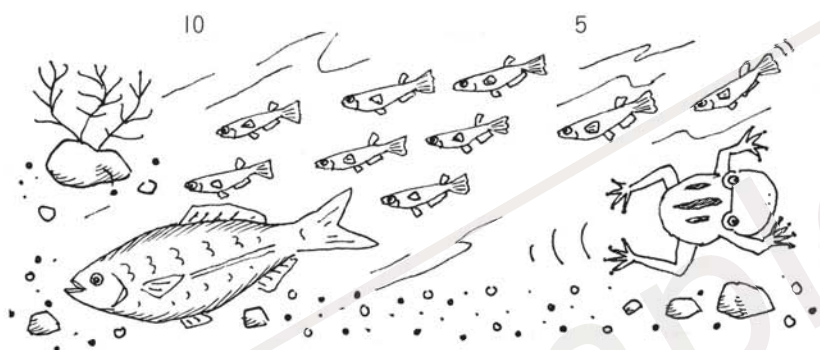
**たしかめよう**

次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

おがわのマーチ

ぐるーぷ・めだか

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますので  
 ご安心ください。



□(1) この詩を、大きな声で自由に読んでみましょう。また、声に出して読むときに、気をつけたことや、くふうしたことを書いてみましょう。

□(2) この詩は、大きくいくつのまとまりに分かれていますか。漢数字で答えましょう。

□(3) —線①「ぼくら」とありますが、「ぼくら」とはだれのことですか。次の□にあてはまる言葉を詩の作者の名前から書きぬきましょう。

□(4) 次のあ・いの様子を表す言葉を、あは二字で、いは三字で詩の中から書きぬきましょう。

- ① い みずくさやこいしをつついている様子。
- ② あ せびれをそろえてたてている様子。

①

②

の

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますので  
 ご安心ください。

15

(工藤直子「のはらうた」より)

ポイント

● 詩のリズムをとらえて、楽しく読もう。

大きな声で音読して、詩全体のリズムをとらえましょう。  
 くり返し出てくる言葉、音や様子を表す言葉に注目すると、  
 リズムがとらえやすくなります。

● 詩のリズムについて考えてみよう。

- ① (七・五) (五・七) などの決まった音数がくり返される  
 と、一定のリズムが生まれます。
- ② 言葉をくり返したり、言葉遊びを取り入れたりすると、  
 楽しいリズムのある詩になります。

□ (5) この詩は何の様子をどのよう表していますか。もっともふさわしいものを次の中から一つえらび、記号で答えましょう。

- ア 春をむかえた小川の様子を、いろいろな魚の立場になつて、想像して表している。
- イ 水そうでかっているめだかの様子を、こまかく観察して、見たとおりに表している。
- ウ めだかが列をととのえて泳ぐ様子を、たんけんたいの行進にたとえて、元氣よく表している。
- エ めだかがばらばらに泳ぐ様子を、楽しい音を入れて、ゆかいに表している。

かんがえかた



- (1) 詩のリズムを味わいながら、大きな声で読みましょう。ほかの人に聞いてもらうつもりで読むのもよいでしょう。
- (3) 詩の作者名が「ぐるーぶ・めだか」とあることから考えましょう。
- (4) 「ピン」や「チョン」のような音が、どんな様子を表しているか考えてみましょう。
- (5) めだかがグループになつて泳いでいる様子を、「ツン タ ツン タ」という言葉を少しづつ形をかえて、くり返し表しています。そこから、たんけんたいが行進しているような元氣のよいリズムが生まれています。

1 次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

練習しよう

なわ一本

高木 あきこ

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。



10

□(1) 詩の中で、くり返し出てくる言葉があります。四字で書きぬきましょう。


□(2) 線①「てっちゃん」は、一本のなわをどんなものにして遊びましたか。

□(3) 線②「まこちゃん」は、一本のなわをどんなものにして遊びましたか。

□(4) 線③「なわとび……とつきゅうひかり」とありますが、どんな様子を表していますか。もっともふさわしいものを次の中から一つえらび、記号で答えましょう。  
ア なわが、かっぴにすがたをかえている様子。  
イ 作者が、子どものころにした遊びを思い出している様子。  
ウ 子どもたちが、次々に一本のなわで遊んでいる様子。  
エ 子どもたちが、言葉遊びをしている様子。

□(5) 線④「なにかになりたい」とありますが、なわはどんな気持ちでいると思いますか。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

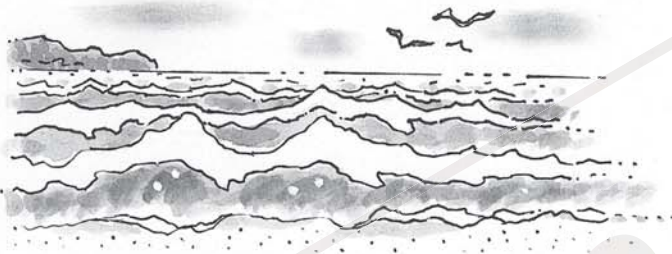
2 次の詩を読んで、あとの問いに答えましょう。

白い馬

高田 敏子  
たかだ としこ

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

5



15

□ (6) 一本のなわで遊ぶとしたら、何にして遊びますか。詩の中にあるもの以外を考えて、自由に答えましょう。

□ (1) 線①「波のうしろを……／波のまえを……」とありますが、どんな様子を表していますか。もっともふさわしいものを次の中から一つえらび、記号で答えましょう。

ア とても大きな波がはげしくうちよせている様子。

イ はるかかなたに波が見えかくれている様子。

ウ 波がすぐに消えてしまう様子。

エ 波が次から次へと発生している様子。

□ (2) 線②「白い馬」とありますが、何をこのように言っていますか。詩の中から書きぬきましょう。

□ (3) この詩はどんな感じの詩ですか。もっともふさわしいものを次の中から一つえらび、記号で答えましょう。

ア いらいらしていて、あせっている感じ。

イ いかりくるって、あらあらしい感じ。

ウ まよいがあって、とまどっている感じ。

エ きぼうにみちいて、わかわかしい感じ。